

令和8年度 交通科学研究会地域交流会（山形県）

「山形県の交通情勢と交通事故抑止施策」

今年度の地域交流会では、交通心理学と作業療法の観点から山形の交通問題をテーマとします。話題提供者として、山形県内の研究者さま、山形県警察さまから交通安全に関する研究や実践の取り組みについてご紹介いただき、その実現に向けた取り組みの現状や必要な技術などについて議論します。

日時：2026年9月3日(木) 13:15～16:45

会場：山形テルサ 3階 会議室（山形市双葉町1-2-3）

◆プログラム

13:00-13:15 受付

13:15-13:25 開会挨拶：交通科学研究会 会長 東 正訓 氏（追手門学院大学心理学部）

13:25-13:55 話題提供1「世界と比べる『日本人の交通安全意識』の現在地：国際調査ESRAデータベースの分析」
立命館大学理工学部 塩見 康博 氏（発表20分、質疑10分）

13:55-14:25 話題提供2「山形県における交通事故の発生状況と対策について」
山形県警察本部交通部交通企画課 和田 浩明 氏（発表20分、質疑10分）

14:25-14:55 話題提供3「一定の病気等、特に脳卒中後の運転再開に関する山形県内医療機関での取り組みについて」
山形県立保健医療大学作業療法学科 外川 佑 氏（発表20分、質疑10分）

14:55-15:10 休憩

15:10-15:40 話題提供4「交通心理学の社会実装に向けた挑戦：AIと音声メディアを活用した交通安全教育の実践」
近畿大学生物理工学部 島崎 敢 氏（発表20分、質疑10分）

15:40-16:10 話題提供5「地方都市における地域モビリティの課題と可能性」
東北公益文科大学公益学部 神田 直弥 氏（発表20分、質疑10分）

16:10-16:40 話題提供6「高校生の自転車通学における安全行動変容プログラムの効果検証」
大阪公立大学大学院工学研究科 吉田 長裕 氏（発表20分、質疑10分）

16:40-16:45 閉会挨拶：交通科学研究会 副会長 吉田 長裕 氏（大阪公立大学大学院工学研究科）

司会進行：中井 宏 氏（大阪大学大学院人間科学研究科）

さらに議論と交流を深めて頂くために、17:30頃から山形駅付近で懇親会を予定しています（会費は7000円を予定）。参加を希望される方は、会場設営、懇親会予約の関係上、8月20日（木）までに、地域交流会専用アドレス tiiki@kokaken.or.jp へ参加希望メールをお送り下さい。